

ご挨拶

この4月より会長を務めることになりました田中です。どうぞよろしく申し上げます。
4年間にわたり会長を務められた山本さん、そして退任された理事の皆さん、お疲れ様でした。
これまでのクラスへの貢献に対しメンバーを代表してお礼を申し上げます。

私がテザーと出会ってから20年以上の歳月が流れました。当時、初代会長の吉川さんが自らニュースレターを作っておられたのを思い出します。レガッタに出た選手のそれぞれの目線でのレポートや海外記事の翻訳などをつなぎ合わせた、手作り感あふれるものでした。ニュースレターが出る頃になると家に届くのが楽しみで、記事を読み、終わったレガッタをもう一度楽しんで、レポートの主人公とのつながりを感じたものでした。吉川さんはレターの中で「皆さん、テザーを楽しんでください」とよく言っておられました。楽しいことは長続きする。これは真理だと思います。

私にとって、長続きの原動力となったものがもう二つあります。速く走らせたいたいという気持ち、そして一緒に走る仲間にも恵まれたことです。私はこれらをテザー界全体で実現できないかと思っています。日本のテザーのレベルをさらに引き上げる強化に取り組み、あらゆる年代で海外勢と伍して戦うフリートを作っていきたいと思います。そのためには、世代やキャリアを超えて幅広いセーラーがテザーに集まり、もっと海に出ること。そして海に出てステップアップするためのプログラムも用意する必要があります。また、テザーを始めた頃感じた、コミュニティのつながりを大事にし、大会準備など様々な裏方の活動も含めて、テザーを丸ごと楽しむ気持ちをもって、協会の運営にあたります。

テザークラスは、セーラー自らがボランティアとして協会を運営しています。その時々元気なセーラーが集い、協会運営を支えて、四半世紀を超える歴史を作ってきました。今次理事会には、9名の有志が集まってくれました。

亀山寛達さん（副会長、広報担当、JSAF 代表者会議代表）

池田陽平さん（会計担当）

関口真秀さん（事務局（東日本担当））

渡辺克充さん（事務局（西日本担当））

軽部竜也さん（メジャー、ルール普及担当）

建内 満さん（イベント担当、安全対策担当）

植田泰平さん（強化・普及担当）

小松 充さん（同上）

村岸恭明さん（同上）

体制の特徴とこれからの取組の一部を紹介します。

- ① 強化・普及担当を新たに設けました。また兼務ではありますが、ルール普及、安全対策の担当を置きます。練習会等を通じて、ソフト、ハードの両面からセーリング技術のレベルアップに取り組みます。セーリングの基本といえるルールの理解促進と安全管理のあり方を考え

ていきます。

- ② スキルやノウハウを持っておられるセーラーの方々に、得意分野で協力していただく「サポートスタッフ」の仕組みを取り入れます。サポートスタッフの協力を得て、広報活動等の充実を図ります。

テザーは艇の寿命が長いですが、セーラーとしての寿命も長いのが特徴です。葉山の安原さんが良きお手本です。平均年齢が上がっているのは、その証左の一つといえます。長い人生、子育てや転勤などで乗りたくても乗れない時期、気持ちが海に向かわない時期もあるでしょう。私たちもそのような時期がありました。それらがひと段落したら、テザーでもう一度海に出てみませんか。テザー協会とコミュニティは、いつでも暖かくお迎えします。

2014年4月

日本テザー協会会長 田中郁也